

目 次

序：デモクラシーと境界線の再定位

第 I 部 マイノリティと排除

第 1 章	事実をもって「白人問題としての黒人問題」 に迫る	北田 暁大	3
	◎デュボイスの実証主義の倫理		
	はじめに——経験的調査と差別問題		3
	1 『フィラデルフィアのネグロ』の方法論		4
	2 事実と証拠		7
	3 ループする価値と事実		11
	4 文脈の重層性		13
	おわりに——「デュボイスの忘却」のさらなる条件		14
第 2 章	米国におけるモデル・マイノリティ	新嶋 良恵	17
	◎表象を読み解く視点		
	はじめに		17
	1 モデル・マイノリティ表象の始まりと表象に対する抵抗		20
	2 エスニック・スタディーズの企図		24
	3 マイノリティをめぐる表象研究と周縁化の構造への視座		26
	4 新しい社会運動としてのマイノリティ表象研究		28
	おわりに		31
第 3 章	「彼ら」とは誰か	津田 正太郎	34
	◎英国メディアにおける貧困者／移民排除言説の変遷		
	はじめに		34
	1 マスメディアによる貧困報道の諸問題		36
	2 「支援に値しない貧困者」言説の歴史的起源		40
	3 イメージとしての「寛容な福祉国家」		41

4	移民批判報道の変容	44
	おわりに	48
第4章	「転用空間」としての市民社会——— 仁平 典宏	51
	◎ホームレスの生存運動と「市民」の間	
	はじめに	51
	1 「剥き出しの生」としてのホームレス	54
	2 「野宿者」の運動と「ボランティア」——政治的かつ人道的に	56
	3 食料提供の構造と意味	58
	4 「転用」という戦略	62
	おわりに	65

第Ⅱ部
政治と政治参加

第5章	韓国の2017年大統領選挙とその背景 — 高原 基彰	71
	はじめに	71
	1 前大統領の弾劾可決と、韓国の左右対立	72
	2 財閥問題の歴史的背景	75
	3 選挙の概要	78
	4 選挙の結果	81
	おわりに	84
第6章	日本におけるインターネット選挙運動の 解禁と2010年代の動向——— 西田 亮介	88
	はじめに	88
	1 インターネット選挙運動解禁以前の状況と論点	90
	2 インターネット選挙運動解禁の政策過程	92
	3 解禁後の動向, 課題と展望	99
	おわりに	102

第7章 社会運動か政党か——加藤 伸吾 106

◎スペインの新政党ポデモスにおける内部対立に見る党内デモクラシーの変遷

はじめに	106
1 社会運動家出身の政治学者サークルによる創設	108
2 党中央の「選挙戦機械」化、それへの反抗と終息	109
3 「シルクロ」——党の最小単位から政治的社会化の主体へ	114
4 民主的保障委員会——「党内民主主義の過剰」?	116
おわりに——「セカンド・シーズン」	118

第8章 社会運動における自治——富永 京子 122

◎「制度化」プロセスとの関連から

はじめに	122
1 本章の問題意識	122
2 先行研究と方法	124
3 事例分析	130
4 考察と結論	135
おわりに	137

第Ⅲ部

世論と公共性

第9章 共生社会を阻む「ホンネ」と「タテマエ」
——秦 正樹・中井 遼 141

◎日本・フランス・エストニアにおけるリスト実験の比較分析

はじめに	141
1 移民／外国人との共生忌避の国際比較	142
2 伝統的聴取法が対処できない2つの「ズレ」	143
3 分析の手法と対象	145
4 分析結果と検討	146
おわりに	155

第10章 「外国人嫌い」を抑制するのは市民か？
エリートか？ ————— 秦 正樹 159

◎フレーム実験とリスト実験の融合手法による検証

はじめに	159
1 世論は誰のメッセージに耳を貸すのか	161
2 先行研究の検討	163
3 実験デザイン	167
4 実験結果	171
おわりに	174

第11章 「包摂／排除」をめぐるメディアの政治的機能
————— 山腰 修三 176

◎沖縄問題を事例として

はじめに	176
1 メディア研究と政治理論	176
2 戦後日本の沖縄問題とメディア	181
3 デジタルメディア環境のなかの沖縄問題	187
4 メディアと民主主義理論	190
おわりに	192

第12章 来たるべき公共性 ————— 山本 圭 193

◎アレントの身体とゾーエーの複数性

はじめに	193
1 アレントの身体論	195
2 アレントを読むアゴニストたち	198
3 身体の複数性、ゾーエーの複数性	200
4 身体とラディカル・デモクラシー	204
おわりに	206

あとがきに代えて

参考文献

索引